

HCD-Net

Human Centered Design
(人間中心設計)

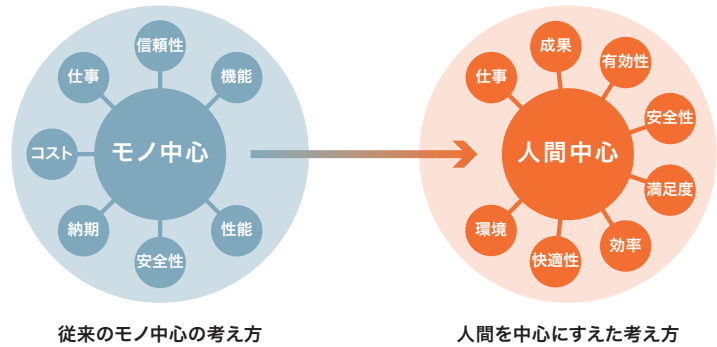
人を優先したモノ・コトづくりを推進します

HCDとは

HCD (Human Centered Design) とは、「苦い経験」を減らし、「うれしい経験」をもたらすための取り組みで、製品やシステム、サービスなど広い分野で活用されています。

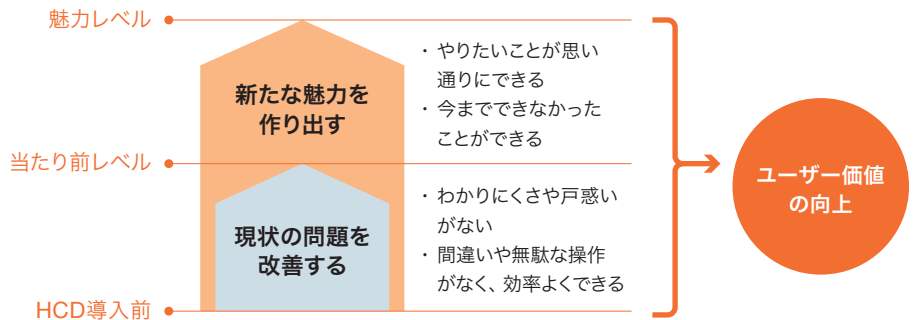
モノ中心から、使う人間を中心にしたモノ作りへ

これからはモノだけでなく、それを使う人間の要求に応えるために技術を生かさなければなりません。HCDでは「人間」を中心にすえて、人間の要求や欲求に合わせることを優先して設計します。



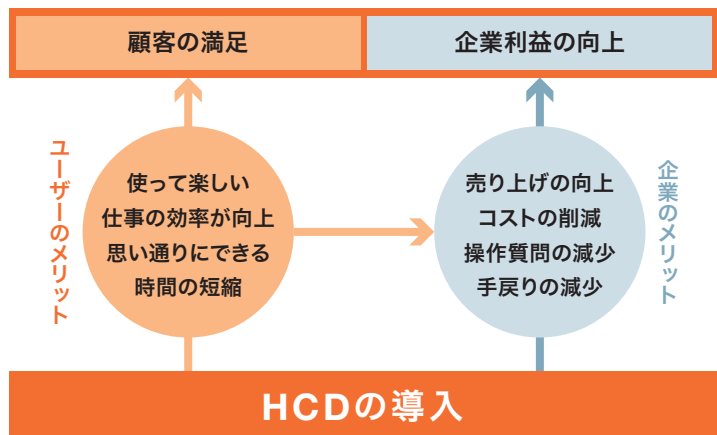
問題点の改善から新たな魅力の創造まで

HCDがめざすのは、ユーザエクスペリエンスと使いやすさ、ユーザー価値の向上です。これらは、単に現状の問題点を改善することではありません。より積極的に、人間の欲求に応える新たな魅力や体験の創造をめざします。



「手戻り」を減らし、顧客満足と企業利益を同時に達成

HCDの導入によって、ユーザーはモノやサービスをよりスムーズに、楽しく使うことができるようになります。メーカーにとっては、顧客からの操作に関する質問や「手戻り」が減り、コスト削減と顧客満足 (CS) を同時に達成することができます。



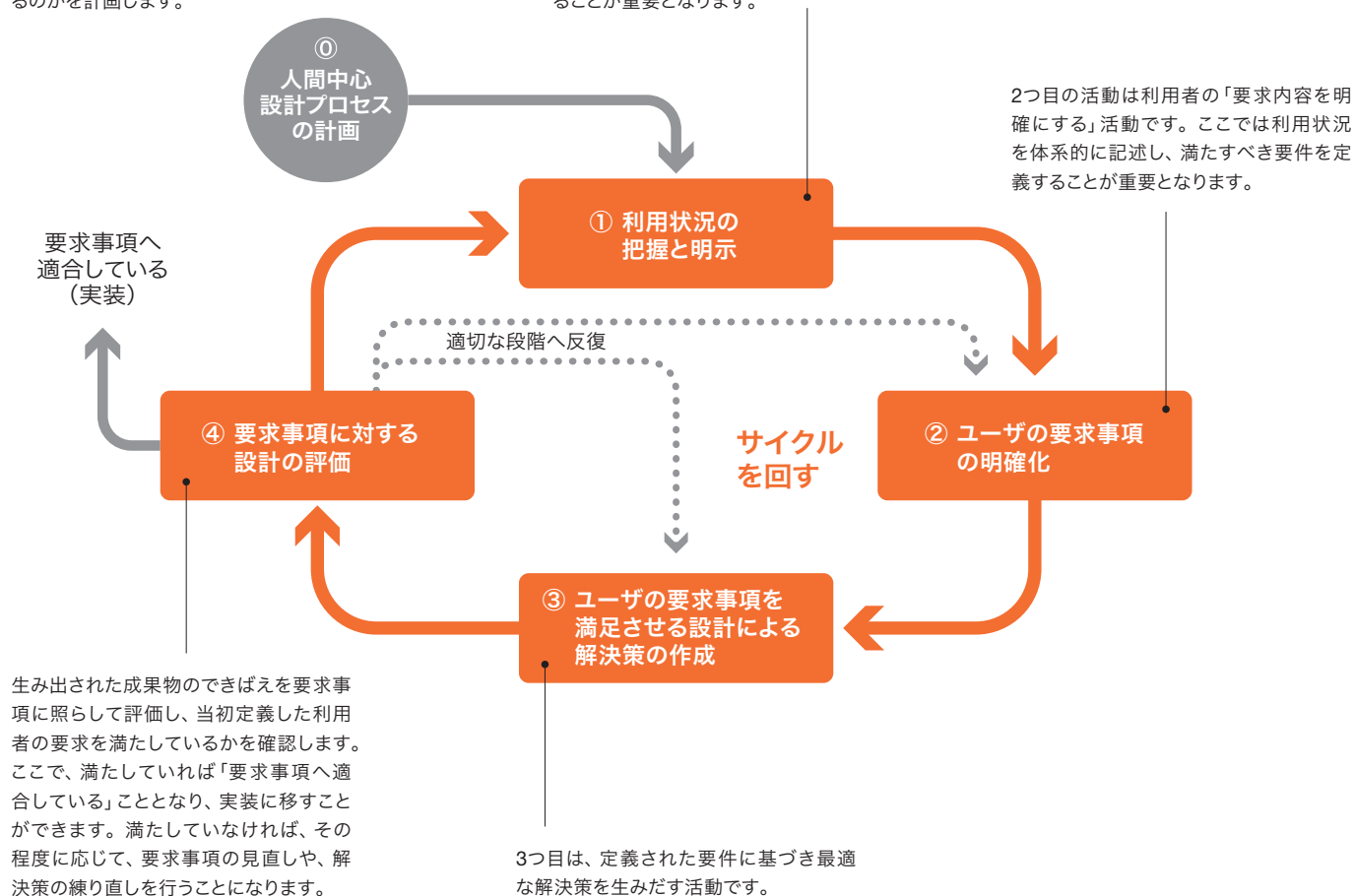
HCDのサイクル

HCDを実践する方法として、4つの主要な活動と1つの予備的な活動からなるHCDサイクルがあります。進め方の基本は、HCDサイクルを取り入れ、製品の構想段階から対象ユーザーとその要求を明確にして、要求に合ったものを設計し、満足度を評価することです。これをユーザーの要求や欲求が満たされるまで繰り返します。

使う人の要求に応えるために、設計と評価を繰り返す

予備的な活動として、HCDを活用したプロセスの計画をします。具体的にはプロジェクトの目標を考慮して、HCDを開発プロセスのどの段階に、どのように導入するのかを計画します。

4つの主要な活動の最初は、利用者の「利用状況を理解し明確にする」活動です。ここでは様々な調査やインタビューにより、利用者の行動とその背景や要因を理解することが重要となります。



現場観察で問題点を見つける

人、時、場所、目的により変化する使いやすさやユーザー価値を向上させるには、対象とするユーザーの欲求や行動を知ることが出発点となります。

現場では、ユーザーを中心に、その周りでどんなことが起きているかを観察し、分析します。実際の利用現場には多くのヒントが隠されています。

多様な人材チームで進める

HCD活動はHCDの専門家だけでなく、製品仕様をまとめる設計者やデザイナー、市場導入戦略を牽引するマーケティングなど、多様な人材が関わりながら推進することが求められます。

HCD-Netのめざす社会

多くの人々が便利に快適に暮らせる社会

人間中心設計推進機構(以下、HCD-Net)は、HCDに関する学際的な知識を集め、産学を超えた人間尊重の英知を束ね、HCD導入に関するさまざまな知識や方法を適切に提供することで、多くの人々が便利に快適に暮らせる社会づくりに貢献します。最近では顧客の経験や体験(ユーザエクスペリエンス、UX)が重要だと言われています。

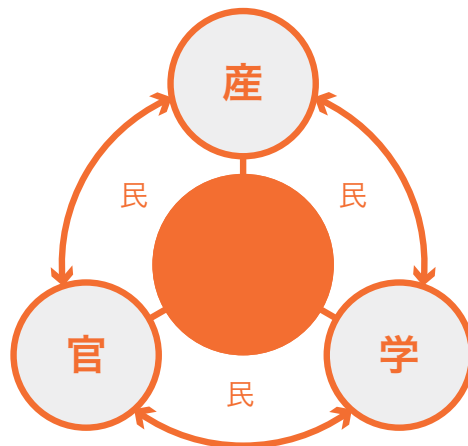
HCD-Netは、より良いUXを実現すると共に、経済の発展への寄与と豊かでストレスのない、実りある社会の実現をめざします。



NPO法人としてのHCD-Netの役割

公の立場で産・官・学と連携し、新たな社会形成を推進

学界、産業界の枠組みや行政の縦割り構造のため、HCDやUXのデザイン(UXD)の視点が抜け落ちてしまったり、ユーザーの柔軟性に頼ってしまうことがあります。こうした部分を補完し、HCD/UXDを意識したモノ・コトづくりを実現するために、HCD-Netのような公益団体が、産業(産)、行政(官)、学界(学)を横断的につないでいく大きな役割を担っています。



NPO法人であるHCD-Netは、20年近くHCD/UXDに携わってきた専門家の活動をベースに、産・官・学を横断的につなぐ役割を担っています。HCD-Netの活動は、ISO9241-210のプロセス規格に基づいています。

HCD-Netの5つの活動領域

事業部が連携して、
HCD/UXD活動を推進

HCD-Netでは、研究分野、認定活動、ビジネス支援、広報社会化、教育活動の5つの領域を設けて活動しています。商品・サービスのユーザビリティを向上させる人間中心設計の講演会、セミナー、調査・研究、コンサルテーション、評価・分析、設計・開発支援などに関する事業活動により、広く公益の増進に寄与します。

研究活動

HCD/UXDを探究する調査・研究事業の実施

HCD/UXDをシステム開発に導入する際の効率性や利用品質をさらに高める研究

HCD/UXDに関わる研究発表の機会の提供
機構誌の刊行など

認定活動

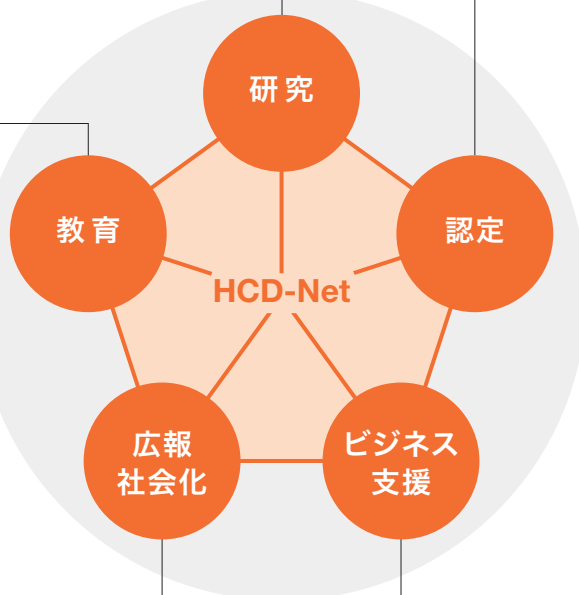
調査研究や商品・システム開発における人間中心設計プロセスを実践できる専門資格の認定

HCD/UXDに優れた商品・ウェブ等の認定、検証活動

教育活動

HCD/UXDの知識・経験・実践に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催

HCD/UXDの実践に必要な知識体系の構築・整理など



広報社会化活動

HCD/UXDの普及・啓発事業

行政や産業界に向けたフォーラム、シンポジウムの開催

HCD/UXDに優れた商品を広く一般消費者に広報する活動

HCD/UXDの学習に適した教科書・参考書の刊行

年間アワード審査発表など

ビジネス支援活動

HCD/UXDに関するツールや手法の収集・開発

公共性の強い社会基盤システムのHCD/UXDの設計活動、指標・規格等の検討

HCD/UXDに優れた商品・サービスの設計・開発支援

HCD/UXDに関する情報収集並びに情報提供

全産業にわたる商品・サービスの評価・分析支援など

HCD-Netの対象とする7つの分野について

HCD/UXDに関わっている、これから関わる方のために分野別に支援

HCD-Netは、HCD/UXD担当者、スタートアップ・新規事業に携わる方、ITシステム・製造業に携わる方、Web・アプリケーションの企画・開発に携わる方、マネジメント・経営に携わる方、教育関係者、行政・公共サービスに携わる方などに向けた支援を行っています。



HCD/UXD担当者



スタートアップ・新規事業



ITシステム・製造業



Web・アプリケーションの企画・開発



マネジメント・経営



教育関係者



行政・公共サービス

7つの分野に対応したHCD-Netのカタログ

セグメント別のカタログをご用意しています。興味をお持ちの方はHCD-Netまでお問い合わせください。

好評発売中

HCD-Netの本『HCDライブラリー』シリーズ

人間中心設計を広く社会へ普及させるために書籍『HCDライブラリー』（出版：近代科学社）を出版しました。

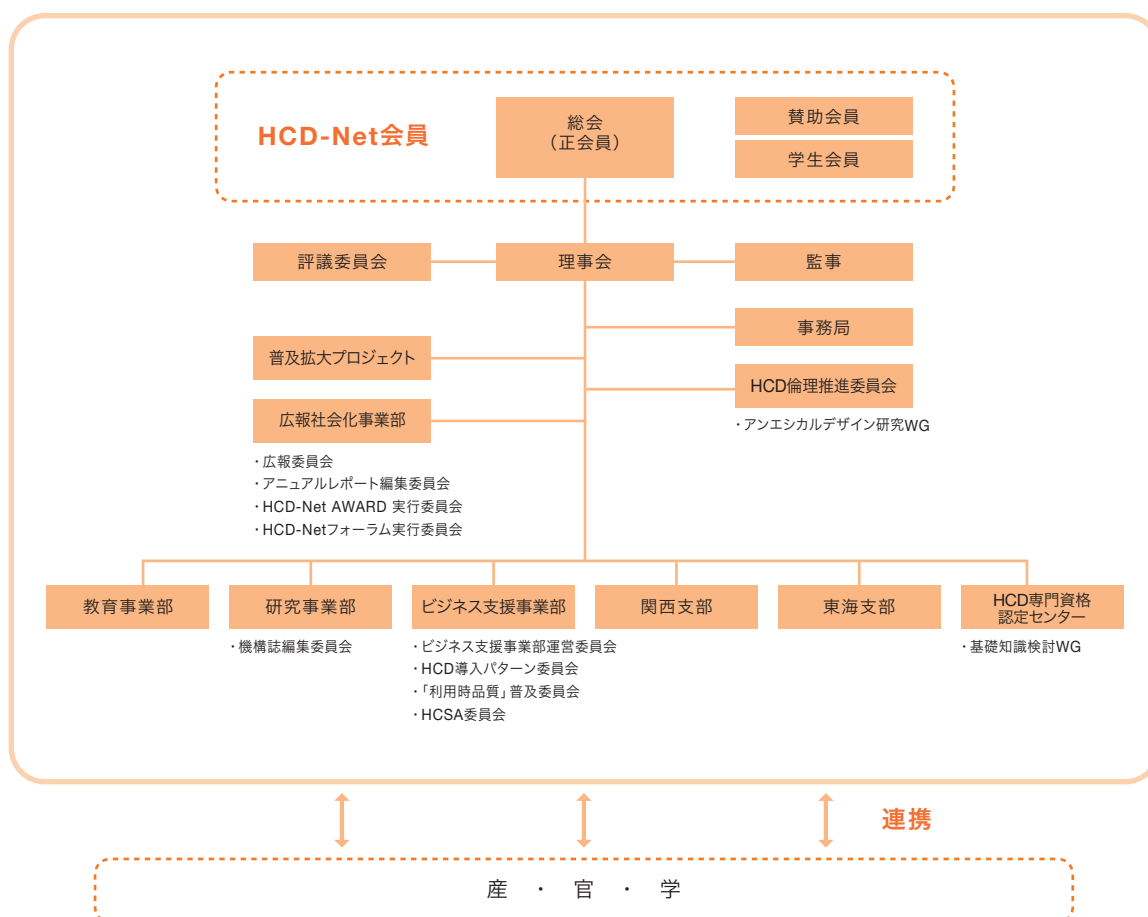
『HCDライブラリー』はシリーズ化されており、気になるテーマからご覧いただけます。人間中心設計（HCD）に取り組まれている方々は、ぜひご覧ください。

- 第0巻 人間中心設計入門
- 第1巻 人間中心設計の基礎
- 第2巻 人間中心設計の海外事例
- 第3巻 人間中心設計の国内事例
- 第4巻 人間中心設計におけるマネジメント
- 第5巻 人間中心設計におけるユーザー調査
- 第6巻 人間中心設計におけるデザイン
- 第7巻 人間中心設計における評価



デザイン編

HCD-Netの組織



HCD-Net会員の構成

ビジネスや教育の場で
必要とされているHCD/UXD

近年、ビジネスや教育の場でHCD/UXDに対する重要性が高まっており、それに合わせて多様な立場の方々がHCD-Netに入会されています。イベントを通して会員同士での情報交換も行われています。ぜひ入会をご検討ください。

HCD/UXDのノウハウを必要とする人	HCD/UXDを理解したい人
<ul style="list-style-type: none"> ・システムエンジニア、プログラマー ・ウェブデザイナー ・ユーザビリティエンジニア、デザイナー ・品質保証担当者 ・ユーザインタフェースデザイナー ・インタラクションデザイナー ・情報デザイナー (IA) ・テクニカルライター ・商品企画、製品設計、製造、販売などの開発関係者 ・HCD/UXDに関連する教育者・研究者 ・HCD/UXDの重要性を理解し開発に活用している方々 ・および、これらの専門性を育成したいと考えている方々 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジニア、システムエンジニア、プログラマー ・プランナー ・グラフィックデザイナー ・プロダクトデザイナー ・流通事業者／マーケティング ・サービス事業者 ・行政システム担当者 ・行政サービス担当者 ・ユーザーとの関わりを大切にしたいと考えている方々 ・経営者

入会のおすすめ

1. 当機構の活動を通じ、HCDやUXDに関する最先端情報を収集し、実践に活用できます。
 - ・HCDスキルやUXDスキルを、体系立てて習得できます。
 - ・HCDやUXDのビジネス導入ケースを学ぶ場を得られます。
 - ・HCDやUXDの有識者との情報交換の場（フォーラム、サロン、研究会）に参加できます。
 - ・会員限定のセミナー、イベントに参加できます。
 - ・機構誌ほか当機構の成果物を入手できます。
2. 当機構の諸活動には、会員価格にて参加できます。
 - ・毎年開催されるフォーラム、シンポジウムをはじめ、各種セミナーやイベントの参加費には会員価格が設定されており、非会員価格と比べて割安となっています。

会員種別と年会費

会費

- ・一般正会員： 12,000円／年
- ・一般学生会員： 4,000円／年
- ・賛助会員： 80,000円／年

入会金 不要

会員特典

一般会員（正会員・学生会員）：

HCD-Net主催の講習会・セミナー・懇親会等に会員価格で参加可能
HCD-Net 機構誌へ論文投稿可能

賛助会員：

一般正会員2名分の参加資格（申し込み事業所単位）
賛助会員イベントへの支援（プライベートセミナーなど）

論文の投稿は、常時受け付けています。

論文投稿のご案内：<https://www.hcdnet.org/research/treatise/index.html>

入会方法

正会員および学生会員へのご入会をご希望の場合：

当機構ではオンラインによる会員情報管理システム「SMOOSY」（スムージー）を運用しています。
以下URLよりご登録をお願いします。
<https://hcdnet.smoosy.atlas.jp/admission>

賛助会員へのご入会をご希望の場合：

以下URLよりお問い合わせフォームにアクセスしてご入会希望の旨をお知らせください。
<https://www.hcdnet.org/contact.html>

お問い合わせ先

特定非営利活動法人（NPO法人）人間中心設計推進機構 事務局
〒107-0052
東京都港区赤坂4-2-12-213 ソシオメディア株式会社内
特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構
e-mail: secretariat@hcdnet.org